

六年生の二学期の時に、理科で「植物は、日光があたると二酸化炭素をとり入れて酸素を出す」ことを学んだ。植物が人の手でよこまれたりなくなったりすると、地球温暖化が進んでしまう。そこで、自然を守るため自分たちにできることはないたろうか。それは、どんなことなのだろうか。森林がなくなった原因は砂漠化や酸性雨などの気候変動の影響や生態系を無視した無計画な森林のはげ採たそうた。理科の時植物は、二酸化炭素をとり入れ酸素を出すということを学んだ。生態系を無視した無計画な森林のはげ採をやめないとたん酸素がなくなると地球温暖化が進んでしまうと。思った。森林がなくなると動物が死んでしまう。まうし、酸素が作らなくなると地球温暖化が進んでしまうと思へう。

〈出典〉「EduTOWNSDG」世界の国や

地域が協力して持続可能な開発を

目指すSDGs「東京書籍」